

施策マネジメントシート

作成日 平成 28 年 8 月 24 日

施策	03 機能的で魅力ある市街地づくり		
施策 主管課	まちづくり整備課	氏名	神宮寺 隆
		施策 関係課	

1. 現状把握 Plan→Do

(1) 施策の目的と指標

① 対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ◇石和温泉駅周辺 ◇春日居町駅周辺地域 ◇各地域(石和、春日居、御坂、一宮、八代、境川)の生活圏の中心	③ 対象指標名称 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない (単位) a 石和温泉駅周辺地域(用途地域)の面積 km ² b 春日居町駅周辺地域の面積 km ² c 各地域の生活圏の中心の面積 km ²
② 意図 (対象をどういう状態に変えるのか) ◇市街地の魅力が高まり、人々が集まって来る。	④ 成果指標名称 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない (単位) d JR石和温泉駅1日当り乗者数 人 e 対象地域(6地区)の人口 人 f 市街地の魅力が高まっていると考えている市民の割合 % g h
⑤ 成果指標設定の考え方 ◇対象地域の人口により、市街地の魅力が高まり、人々が集まって来ているかを判断する。また、定住すれば駅の利用者も増える。 ◇市街地の魅力が高まっているか市民に聞く。	⑥ 成果指標の取得方法 ◇石和温泉駅1日当り乗車人数は、JR東日本ホームページデータ ◇対象地域の人口:年度末の住基行政区別人口の合計(石和町駅前区、春日居町別田区、御坂町栗合区、一宮町末木区、八代町南区、境川町石橋区) ◇まちづくり基礎調査⇒設問「笛吹市は市街地の魅力が高まっていると思いますか。」

(2) 指標・事業費等の実績推移と目標値

			23年度 実績、決算	24年度 実績、決算	25年度 実績、決算	26年度 実績、決算	27年度 実績、決算	28年度 実績、見込み	29年度 最終目標
対象 指標	a 石和温泉駅周辺地域(用途地域)の面積	見込み値	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35		
		実績値	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35		
	b 春日居町駅周辺地域の面積	見込み値	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72		
		実績値	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72		
	c 各地域の生活圏の中心の面積	見込み値	4.71	4.71	4.71	4.71	4.71		
		実績値	4.71	4.71	4.71	4.71	4.71		
成果 指標	d JR石和温泉駅1日当り乗者数	成り行き値	2,588	2,588	2,588	2,588	2,601	2,614	2,627
		目標値	2,590	2,590	2,590	2,590	2,616	2,642	2,668
		実績値	2,566	2,754	2,798	2,785	2,846		
	e 対象地域(6地区)の人口	成り行き値	5,750	5,750	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
		目標値	5,800	5,800	5,936	5,954	5,972	5,990	6,008
		実績値	5,901	5,922	5,870	5,874	5,898		
	f 市街地の魅力が高まっていると考えている市民の割合	成り行き値	23.0	23.0	20.3	20.3	20.5	20.7	20.9
		目標値	24.0	25.0	20.3	20.3	20.7	21.1	21.5
		実績値	17.6	19.7	21.3	-	-		
	g	成り行き値							
		目標値							
		実績値							
h	成り行き値								
	目標値								
	実績値								
施策コスト	事務事業数	本			2	3	5		
	事業費 (A)	千円	144,352	154,386	741,953	922,182	1,048,892		
	うち一般財源 (A')	千円	74,204	41,508	70,207	78,648	109,094		
	人件費 (B)	千円	27,698	30,753	17,085	17,615	21,146		
	トータルコスト (A+B) (C)	千円	172,050	185,139	759,038	939,797	1,070,038		
	うち一財 (A'+B) (C')	千円	101,902	72,261	87,292	96,263	130,240		

(3) 施策の目標設定の根拠 (水準の理由と前提条件)

●後期基本計画策定に伴い成り行き値、目標値の再設定を行った。

◇石和温泉駅1日当り乗車人数:成り行き値はH22年度実績を平成26年度まで据え置き、平成27年度以降は駅舎完成による利便性向上を見込んで微増と設定。目標値も同様に微増と設定。
◇対象地域人口:成り行き値はH23年度実績を据え置く。目標値は過去の実績を維持することとした。
◇市街地の魅力が高まっていると思う市民の割合:成り行き値は平成26年度まで20.3%と横ばいに設定、平成27年度に石和温泉駅周辺整備事業の完成予定により0.2ポイント/年の向上すると見込む。目標値は同様に平成27年度から0.4ポイント/年の向上を見込む。

(4) 施策の役割分担 (住民と行政との役割分担)

ア) 住民の役割 (住民・地域・団体・事業所が、自助・共助でやるべきこと) ◇地権者は、適切に土地利用を行なう。 ◇住民は、地区計画等の景観維持の取り組みに参加する。	イ) 行政の役割 (市・県・国がやるべきこと) ◇市は、土地利用計画に基づき、適切な土地利用を誘導する。 ◇石和温泉駅および駅周辺整備を進める。
--------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

(5)環境変化 (対象者や根拠法令等は5年前と比べてどう変わったのか?)

◇住民による景観維持の取り組み意識が高まってきた。
◇H21年度に石和温泉駅北口の基本計画を策定した。
◇H24年度に駅前区画整理事業が終了した。
◇H24年度に石和温泉駅舎の詳細設計を行った。
◇H25年度より石和温泉駅舎、北口駅前広場整備に着手した。
◇H27年度に石和温泉駅舎、南北自由通路、北口駅前広場完成。

(6)関係者の意見・要望 (住民、議会、対象者、利害関係者等)

◇市民から、石和温泉駅周辺については、もっと商業化を進めるべきではないかとの意見がある。
◇市民から、石和温泉駅舎を笛吹市の鉄道の玄関口にふさわしい環境にすべきであるとの意見がある。

2. H27年度の施策の実績 Check

(1)施策の成果実績

Table with 2 columns: ① 目標達成度評価 (前年度目標値と実績値との比較), ② 時系列比較 (過去3か年の比較), ③ 他自治体との成果実績値の比較. Includes checkboxes for target achievement and comparative analysis, and a table for land price comparison between Yamanashi City and other municipalities.

(2)施策のコスト実績 (対象1単位当たり又は住民一人当たりのコスト)

Table with 6 columns: 対象指標名称, (単位), 25年度, 26年度, 27年度, 効率性評価. Lists metrics like area, business fees, personnel costs, and total costs.

(3)施策の現状と課題の総括

◇H27年度に石和温泉駅舎、南北自由通路、北口駅前広場が完成した。
◇石和駅前区画整理事業の工事は終了した。
◇都市整備の財源として、H24年度から都市計画区域全域に都市計画税を課税する予定はH29年度に延期された。
◇将来的には、対象地域(6地区)の整備について検討していく必要がある。
◇駅舎(南北通路)や民間による駅周辺駐車場整備により、パーク&レイルライドの利用を促進する必要がある。

3.後期基本計画の取り組み方針(29年度) Action

(1)現状と課題から導き出した次年度の取り組み方針

◇石和温泉駅周辺整備が終了して、維持管理事業に移行するとともに、地域振興を中心に利活用に取り組んでいく。
◇駅舎(南北通路)や民間による駅周辺駐車場整備により、パーク&レイルライドの利用を促進する。

(2)施策の対象を、目標に導くための次年度の手段

◇対象地域の市街化整備の推進を図る。
◇駅利用者の利便性を高めるため、民間等による駅周辺の駐車場等の整備を促進する。